

「健康・医療のデータサイエンスが乗り越えるべき課題」

2025年に開催される大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」で描かれる未来社会では、「多様で心身ともに健康な生き方」が実現されていることが望まれます。大阪・関西には世界に誇るライフサイエンス、バイオメディカルの研究拠点が集積しており、万博のテーマに沿った新たなイノベーションでさらなる発展が期待されます。そこで、今回は健康・医療分野で利活用が注目されている健康診断データ、ライフログ等をテーマとして取り上げることとしました。こういったビッグデータの収集・計測・解析は技術的な進歩も著しいですが、今後解決すべき課題も残されています。また、データの取得・収集には、政策・規制も関係します。そこで、本研究会では、健康・医療のデータサイエンスが乗り越えるべき課題を、技術面および政策・規制の両面から議論いたします。

- 【開催日】 平成31年4月19日（金）13:30～18:45
【会場】 セミナー：グランフロント大阪 タワーC 9階 Vislab
(<https://cb-lab.jp/access.html>)
交流会：同タワーC 7階 公益財団法人都市活力研究所セミナールーム
【主催】 日本バイオインフォマティクス学会・関西地域部会
【共催】 公益財団法人都市活力研究所
【後援】 NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議、
NPO法人バイオグリッドセンター関西
【参加費】 無料、（交流会：2,000円/人）
【定員】 75名程度（交流会25名程度）
【申込み】 <http://www.urban-ii.or.jp>
【プログラム】 司会：森川 裕二（塩野義製薬）

- 13:30 開会挨拶 中川 博之（関西地域部会長、住友化学）
13:40 講演1「2025年日本国際博覧会について」 辰巳 康夫先生（大阪市）
14:00 講演2「疲労科学研究から個別健康最大化のための健康関数の開発へ」
水野 敬先生（理化学研究所）
14:45 休憩
15:00 講演3「疲労の日常管理を目指して。カメラによる自律神経機能計測技術
の開発と健康増進への活用」 船橋 一樹先生（リコー）
15:00 講演4「機械学習による画像診断支援（仮題）」
坂無 英徳先生（産業総合研究所）
16:00 休憩
16:10 パネルディスカッション
パネリスト：辰巳先生、水野先生、船橋先生、坂無先生、
坂田 恒昭先生（大阪大学）
モデレーター：藤原 秀豪（日本新薬）
16:50 閉会挨拶
17:00 セミナー終了
17:15 交流会開始
18:45 終了

【お問い合わせ】

公益財団法人都市活力研究所 事務局 味村 TEL: 06-6359-1322

